

総合整備計画

香川県三豊市 栗島辺地

(辺地の人口 137 人 面積 3.68 km²)

1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 三豊市詫間町栗島全域
- (2) 辺地の中心の位置 三豊市詫間町栗島 1382 番地
- (3) 辺地度点数 131 点

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

栗島開発総合センター整備事業（複合化）による。各事業の詳細を以下に示す。

<p>(1) 栗島開発総合センター長寿命化事業</p>	<p>島の玄関口である栗島港の目の前に立地し、三豊市の出張所かつ地域防災計画における避難施設である栗島開発総合センターであるが、その建築は昭和 58 年度であり老朽化が進行している。また、トイレをはじめとする施設内の設備も建築当時より更新されていないため、高齢化が進行する島民が利用しづらい施設となっている。</p> <p>そこで、老朽化が進行している外壁や屋上防水及び内装の修繕や多目的トイレを新たに設けるなどの全面的な改修を実施することで、栗島開発総合センターを定住の基盤施設とすることを本事業の目的とする。</p>
<p>(2) 栗島汽船待合所集約化事業</p>	<p>島民の生活航路及び観光における来島手段として欠かせない栗島汽船であるが、現在の待合所は昭和 61 年度に汽船運行事業者が建築した木造平屋建ての建物であり老朽化が進行している。また、滞在スペースも狭く、トイレをはじめとする設備も建築当時より更新されていないため、瀬戸内国際芸術祭などで来島する観光客の要望には対応できていないのが現状である。</p> <p>そこで、栗島開発総合センター長寿命化事業の実施に合わせ、栗島汽船待合所を同センター内に集約し待合室を設ける。本土側の待合所と同程度のスペースを持たせ、また待合室が独立して運用できるよう、専用出入口、トイレ、空調等をそれぞれ整備したうえで、汽船運行事業者へ貸し付ける。集約化により施設利用者の利便性を高めることで、関係人口の増加及び地域の活性化につなげることを本事業の目的とする。</p>
<p>(3) 栗島診療所集約化事業</p>	<p>島民の医療インフラとして欠かせない栗島診療所であるが、現在の診療所は昭和 31 年度に建築された木造 2 階建ての旧耐震基準の建物であり、老朽化が著しいため早急な移転等の措置を必要としている。現在、栗島には常勤医師が不在であり、週 2 日の医師の派遣を受け、臨時看護師 2 名により診療所を運営しているが、医療従事者の労働環境の面からも現施設を使用し続けることは適切ではない。</p> <p>そこで、栗島開発総合センター長寿命化事業の実施に合わせ、栗島診療所を同センター内に集約し診療室を設ける。集約化により、施設利用者及び医療従事者の利便性を高めることで、栗島における定住基盤の強化につなげることを本事業の目的とする。なお、令和 9 年度に集約化改修工事が完了した後、不要となった旧診療所の解体工事を令和 10 年度に実施する計画である。</p>

3. 公共的施設の整備計画

事業期間：令和8年度から令和10年度までの計3年間

(単位 千円)

区分 事業名	事業主体名	事業費		財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源※	一般財源	
(1) 栗島開発総合センター 長寿命化事業	三豊市	令和8年度 (改修工事 実施設計)	2,000	1,000	1,000	1,000
		令和9年度 (改修工事)	40,000	20,000	20,000	20,000
(2) 栗島汽船待合所集約化 事業	三豊市	令和8年度 (改修工事 実施設計)	1,000	500	500	500
		令和9年度 (改修工事)	30,000	15,000	15,000	15,000
(3) -1 栗島診療所集約化 事業	三豊市	令和8年度 (改修工事 実施設計)	1,000	0	1,000	1,000
		令和9年度 (改修工事)	30,000	15,000	15,000	15,000
(4) -2 栗島診療所集約化 事業 (旧診療所解体工事)	三豊市	令和8年度 (解体工事 実施設計)	939	0	939	900
		令和10年度 (解体工事)	9,570	0	9,570	9,500
合計			114,509	51,500	63,009	62,900

※ 事業(1)及び(2)は、国土交通省が所管する社会資本整備総合交付金「離島広域活性化事業」に採択される予定である。

※ 事業(3)-1は、厚生労働省が所管する医療施設等施設整備費補助金に採択される予定である。